

小児トータルケアセンター

■ スタッフ

センター長	(小児科医)	岩本彰太郎
副センター長	(小児看護専門看護師)	河俣あゆみ
センター員	(小児科医)	坂田 佳子
センター員	(看護師)	末藤 美貴
事務員		坂本 由香

■ 小児トータルケアセンターの特色

本センターは、入院中および外来の子どもや家族に対する医療の相談活動と共に、在宅・学校など病院外で生活する子どもや家族の生活支援のため、多職種からの相談活動や教育的支援を行っています。特に医療的ケアを要する、在宅で生活する子どもや小児がんの子ども在宅訪問診療、看護の実践をしています。

■ 活動内容及び実績

1. NICU 入院時の退院支援

- 新生児集中治療管理退院調整加算
NICU 看護師、当センター看護師と MSW が 1 回/週、退院支援カンファレンスを実施しています。新生児集中治療管理退院調整加算 101 件でした。

2. 退院支援・在宅生活支援

- 訪問診療・訪問看護
当センター医師及び看護師による訪問診療・看護を実施しています。平成 27 年度、月別小児在宅指導・加算算定は 1,191,492 点でした。
訪問診療は 43 回、訪問看護は 46 回行いました。対象児は呼吸器管理が 1 名、気管切開管理が 4 名、経管栄養は 5 名です。

訪問対象事例	8 名
訪問看護	46 回
訪問診療	43 回

- 小児在宅医療支援部会の開催
月 1 回、在宅移行・在宅生活中の子どもと

家族支援について、多職種による検討を行っています。地域医療機関・関係施設との研究会を開催し、顔の見える関係作りをしています。

3. 相談活動・地域連携

- 相談活動
《病院内》
医師・看護師・薬剤師からの相談が 138 件ありました。

《病院外》
病院外からは、家族、保健師、訪問看護ステーションなどから相談がありました。

職種（院外のみ）	件数（件）
医師	2
訪問看護師	27
保健師	29
児童相談所	6
相談支援員	6
他病院	11
家族	59
合計	140

- 地域連携
《三重県小児在宅研究会の開催》
年 2 回、小児在宅支援に関わる多職種や関係機関と小児在宅研究会を通じて、顔の見える関係づくりと連携を図っています。

《家族会の開催》
第 3 回家族会 平成 27 年 11 月 21 日
参加：6 家族
(親 9 名 兄弟 2 名 祖父母 1 名 患児 6 名)

《児童虐待相談部会》
事例検討を通じて児童相談所や保健師と連絡・調整を行っています。

4. 三重県小児在宅ワーキンググループ

- 月 1 回、三重県庁にてセンタースタッフと三重県ワーキングメンバーによる三重県における小児在宅の充実について話し合いを行っています。

《三重県ワーキングメンバー》

三重県

健康福祉部

医療対策局

障害福祉課

地域医療推進課

子ども家庭局

子育て支援課

発達支援体制推進 PT

教育委員会

特別支援教育課

- 第2回東海三県小児在宅医療研究会
対 象：一般、多職種
参加者：654名
- 鈴鹿市小児在宅研修会
対 象：保健師、看護師
参加者：30名
- 東紀州・紀南地区 小児在宅医療実技講習会
対 象：多職種
- 小児在宅実技講習会
対 象：福祉事業所
参加者：35名

5. 教育的活動

- 特別支援学校第3号研修会
対 象：特別支援学校教員
参加者：50名
- 特別支援学校スキルアップ研修
対 象：教員（看護師免許所有含む）
参加者：20名
- 四日市医療看護大学 北勢地区訪問看護師研修会
対 象：看護師
参加者：40名
- 医療的ケアを必要とする障がい児（者）について知るための研修会
対 象：福祉事業所
参加者：63名
- 三重県看護協会 訪問看護師研修
対 象：看護師
参加者：110名
- 津地区保健師研修
対 象：保健師
参加者：30名
- 平成27年度津市小児在宅医療研修会
対 象：一般、多職種
参加者：74名
- 医療的ケアを必要とする障がい児（者）の福祉と医療の連携を深めるための研修会
対 象：相談支援専門員等
参加者：62名
- 北勢地区 小児在宅医療実技講習会
対 象：多職種
- 小児病棟学習会
対 象：病棟看護師
参加者：30名
- 伊勢地区保健師研修
対 象：保健師
参加者：30名

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/children-tcc/>